

家族5人を優しく包む、
南欧風スタイル



陽気な印象を醸し出す多彩な形状の窓。屋根と庇には、アクセサリーのように際立つ洋瓦をあしらい可愛らしく仕上げている。



TOTAL HOUSING

実例リポート
有限会社トータルハウジング久野
[藤沢市 U邸]



単一になりがちな塀や壁面にも細やかなデザインを施すという遊び心が。見るだけでも楽しい気分にさせる。



左:三方を道路に囲まれた角立地という特性を活かし、個性的で存在感あるファサードデザインに。ほっこりとした塗り壁に焼成のアクセント、素焼きのテラコッタなど細やかな技巧が欧風建築を思わせる。オレンジ色の優しい風合いは、どこか焼き菓子のような温かみ。右:玄関ドアに使用したのは、天然のパイン材。外壁のオレンジ色との色味も調和し、“家の顔”として温かさを醸し出している。



重厚感ある玄関ドアには、ステンドグラス風のデザイン窓。見た目の美しさはもちろん、柔らかな光を玄関内に運んでいる。

玄関に一歩足を踏み入れると、総パイン材でできた造作家具の“オレンジ色”的空間がひろがる。これがUさんの家の特長だ。木肌が美しく、無垢の質感が訪れる者を一気に魅了する。しかも吹き抜けのある開放的に加え、2階部分に設けた窓は、鳩時計のようメルヘンな世界観も演出している。「この家を建てるにあたり、私はナチュラルな感じやカントリーテイストが好きなので、『南欧風の家にしたい』とだけお伝えしました。それを設計デザインで見事に応えていただけましたが、私たちにとって良かったことは素材がすべて自然のものであるということ。小さな子が3人いるので、やはり健康的な家というのうれしいですね」と話すのは奥様。天然木の面材や家具、珪藻土の壁と相まって、家全体が優しく呼吸をするという風通しの良さが、健康的な暮らしを後押しする。「木に囲まれて暮らすということは、心も落ち着きます」と住みごこちに奥様も納得のようだ。経年につれ木が味わい深くなるのも魅力のひとつだ。



家族が集い、笑い合い、団らんのひとときを過ごすリビング・ダイニング。間仕切りを設けず、開放的かつ光の射し込める明るさが家族の安らぎの時間を演出する。天井にもパイン材を贅沢にあしらい、空間全体に温かさと優しさをもたらした設計とした。

まさに圧巻という言葉がぴったりな総パイン材の開放的な空間。見た目の美しさはもとより、実は機能面でも、他を圧倒する工法がなされているのも、U邸の大きな特長だ。奥様によると、「パネル工法」という手法を用いているそうです。これにより冬は暖かく夏は涼しいといふ、いわゆる“魔法瓶みたいな家”に設計されているという説明を受けました。実際に暮らしてみると確かにその通り! 空調だけにたよること

なく生活できていることを実感できます」という。家の中は一年を通して室温差のない快適な環境に保たれているのだそう。トータルハウジング久野は、「暮らしやすさと健康」という観点からパネル工法を推奨しており、数多くの施工例により自信を持つ。ちなみにこのパネル工法とは高気密・高断熱の設計が特長で、「空間内に温度差が少ない」「空気がきれい」「結露ができるにくい」「音が静か」といったメリットを生む。

「結露ができなくなり助かっています」と奥様。家の手間を省けることはもちろん、カビの心配もなく、家を傷めることからも解消されたようだ。また空間内の美しさを重視し、空調はビルトインを採用。しかし奥様は「実はそれほど使っていないんです」と言う。それもパネル工法のおかげで、夏は涼しく冬は暖かい。取材日も真夏の暑さだったが、家の中は暑さを感じない。まさに“魔法瓶の家”だ。



天然のパイン材を床、壁、天井、さらには階段、ドア、造作家具などふんだんに使用。統一感のある迫力と美しさを実現させた。自然の素材を多く取り入れることで家全体が呼吸をし、室内の空気もきれいになるという。

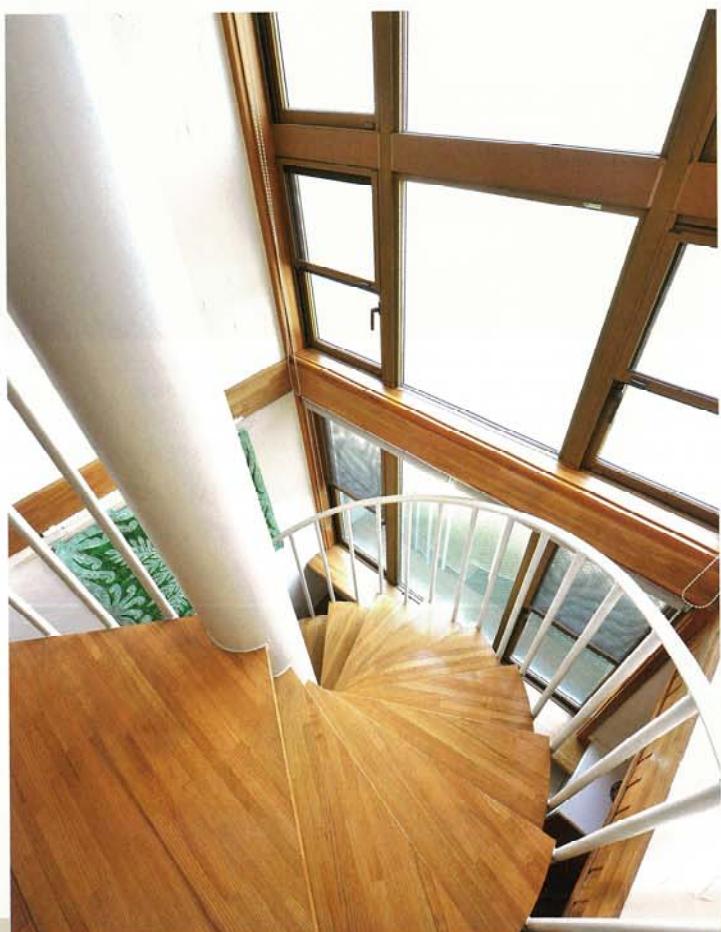


空間づくりの大きなポイントになったのが、階段の配置場所と形状。家族とのコミュニケーションを大切にできるよう、リビング・ダイニングの中に設置した。らせん状であることで目隠しをつらず、開放感と明るさを保つことができる。





素肌に優しい自然素材なので、小さなお子様たちが地べたに座っても安心。また3枚の引き戸の向こう側は、ご主人の希望で設計された「和室」に。南欧風のデザインだが、自然素材をふんだんに使用することで、畳の間がしつくり調和している。寝転べる寛ぎの空間だ。



らせん階段が吹抜の効果もたらし、天井付近まで設けられた窓から明るい光を届ける。



2階に設けられたお子様部屋。女の子の部屋としても自然素材が可愛らしい空間を演出。



2階にある男の子2人の子供部屋。上部にはロフトが設けられている。ロフト部分に上がってみると、ここにも光がとれるよう窓が設計されているほか、収納スペースもあり、無駄のない空間づくりがなされている。

玄関の脇に設けられたリビング・ダイニング、そしてキッチン。廊下をつくるない設計が空間を有効に活用でき、豊かな広さが誕生した。家の中心になっているキッチンからは、家族の団らんの様子が一目で確認できる。「リビングとひと続き(3枚引き戸の奥)になった和室は本当に便利。キッチンの位置もいいので、子ども達が小さい頃は、畳の上に寝かせたりしていまして、それをキッチンで調理しながら見守ることができます」と話すのは奥様。キッチンの右手にはらせん階段もあり、2階の様子を感じることができる。「階段も手すりが目隠し状になっていないので、2階にいる子ども達と会話もできる。便利なだけではなく、常にコミュニケーションがとれる空間づくりは、教育の面でもいいみたいですね」と

話す。また窓の多さにも驚かされる。東西南北にそれぞれ5~7つの開口部があるため、家の中はどこにいても明るい。お子様達と遊んでいたご主人様も「ここはひと言」とばかりに「窓が多いから本当に爽快な気持ちになります。日中はどこの空間に行っても電気がいらない。トイレでもお風呂でもね。逆にいうと壁がない(笑)贅沢な悩みかな」と笑顔を見せた。

POINT ～設計のポイント～

家族の成長と共に可変する、柔軟性のある設計がポイント

Uさんご家族の場合も、家を新築された当初は長女の方がまだ1歳。その後2人の男の子に恵まれ、家族5人が暮らす住まいとなった。トータルハウジング久野では、家族の人数に合わせ暮らせることが、家づくりの大きなポイントになると考え方、「D-style」という設計コンセプトを掲げ提案している。竣工時には間仕切りを設げず、その後、出産・成長、そして独立などに合わせ、自由に間仕切りができるような工夫が特長だ。Uさんの住宅でも、お子様の成長に合わせ、2階のお子様部屋をいつでも2部屋に仕切れるような空間づくりになっている。今だけでなく将来も見据えた家づくりがありがたい。

(取材：編集部)

DATA

敷地面積 132.53m² (40.09坪)
延床面積 104.33m² (31.55坪)
1階面積 66.24m² (20.03坪)
2階面積 38.09m² (11.52坪)

- ◎工法／パネル工法
- ◎基礎／ペタ基礎
- ◎屋根材／屋根パネル
- ◎外装材／ジョリバット
- ◎内装材／パイン材
- ◎キッチン／ヤマハ(ラウンドキッチン)
- ◎バスルーム／タカラ
- ◎その他／勾配天井、らせん階段
- ◎工期／4ヶ月
- ◎竣工年月／2001年5月
- ◎家族構成／夫婦、子供3人

有限会社 トータルハウジング久野

〒252-0246
相模原市中央区水郷田名2-11-26
tel 042-762-0096 fax 042-760-0078
mail info@t-h-kuno.co.jp
<http://www.t-h-kuno.co.jp>

